

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	生活環境改善事業		コード	01-01-14-04	担当課	環境課 衛生係
事業実施期間	昭和49年度～		担当者	馬場 敬士		
総合計画 事業(政策)体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり				
	中項目	生活しやすいまちづくり				
	小項目	ごみ処理				
	施策	資源ごみの分別拡大と収集による減量化・資源化の推進				

事業について	
目的	地区が管理するごみ置場、共同墓地の整備費用の一部を補助する事により、生活環境の改善及び使用者の利便を図る。
対象 (誰のために)	清潔で快適な暮らしを求める市民
内容	ごみ置場、ごみ置場給水施設の設置に伴う補助金の交付(ごみ置場整備改良事業補助金)共同墓地の水道施設設置、駐車場施設設置及び墓参道整備工事に伴う補助金の交付(地区管理墓地整備補助金)

事業の結果	17年度					
実施項目	回数など (単位)		回数など (単位)		回数など (単位)	
ごみ置場整備改良事業補助金	38 件					
①ごみ置場設置数	26 件					
②給水施設設置数	12 件					
地区管理墓地整備補助金	3 件					
事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費	
	直接事業費	6,168	国県補助金等		直接事業費	
	人件費	3,105	受益者負担		人件費	
	合計	9,273	市債	9,273	合計	0
必要人員	0.40 人					
結果指標①	結果指標名	ごみ置場整備改良事業補助金				
	結果指標量	38				
	単位	件				
	対前年比	—				
	事業費	8,588,805 円		0.00%		円
結果指標②	結果指標名	地区管理墓地整備補助金				
	結果指標量	3				
	単位	件				
	対前年比	—				
	事業費	684,195 円		0.00%		円
単位当たりコスト②	228,065 円				円	

事業の成果	
成果指標名	ごみ置場整備改良事業補助金
式又は説明	ごみ置場及び給水施設設置数 ※到達目標値について、各地区(9地区)で年間2件の設置を目標とする。
17年度	
成果指標量	38
対前年比	—
到達目標値	18
到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	ごみ置場の設置については、公衆衛生の向上だけでなく、美観上の点からも整備の必要があり、地区住民からの設置の要望も大きいことから、本市の関与(補助金の交付)は妥当である。また、各地区が管理する共同墓地の整備についても、環境整備の点から、本市の関与(補助金の交付)は妥当である。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	ごみ置場の整備については、塵芥収集事業と密接な関係があるため、整備が進めばごみの収集効率が向上する。
	手段の最適化	
	職場の効率化	
有効性の評価	目的達成度	ごみ置場については、市内各地区で整備が進んでいるが、市街中心地(特に伊部、片上)などは設置場所の選定が困難なことから未整備の地区が各所に有るため、今後も事業を継続し整備を進める。
	成果向上の可能性	
	市民参画度	

総合評価		評価区分 <A~E>
コメント	ごみ置場の設置については、新設、老朽化による付替えともに要望が多く次年度に持ち越したのも多い。予算にも限りがあるため、今後は、要望を踏まえつつ、緊急性のある地区、未整備地区を重点的に整備を進めていく。	B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度	結果指標量① 18
目標値	結果指標量② 18

改善事項	
評価の視点	改善内容
妥当性	
効率性	ごみ置場設置場所の検討
有効性	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。